



Konrad
Adenauer
Stiftung



コンラート・アデナウアー財団
日本事務所

コンラート・アデナウアー財団は、ドイツ連邦共和国に本部を持ち、ドイツの政党・キリスト教民主同盟（CDU）と結びつきの深い政治財団です。

キリスト教民主同盟（CDU）の創設者の一人であり、ドイツ連邦共和国の初代首相でもあるコンラート・アデナウアー（1876-1967）は、戦後の西ドイツの復興やヨーロッパ統合、また社会的市場経済の実現に尽力した人物です。当財団は、コンラート・アデナウアーの政治家としての理念を引き継ぎ、国内外での様々な活動を通して、世界の平和、民主主義の普及のために貢献しています。

「自由」、「正義」、「連帯」が、コンラート・アデナウアー財団の活動における基本理念です。財団の主な活動には、政治教育、シンクタンクとしての学術的な政治研究や政治コンサルティング、意見交換の場としての会議・シンポジウム等の開催、奨学金の給付といったものがあります。現在、世界に80の事務所をもち、100以上の国でプロジェクトを行っています。





日本では、80年代の終わりに、また2007年から2010年までは、シンガポール事務所や韓国事務所を通して、活動をしていました。

アジア地域、また世界における日本の経済的、政治的な重要性と日独関係の更なる強化を念頭に、2010年、財団本部は、東京に事務所を新設することを決定しました。そして、2011年10月、日本事務所が開設され、財団の日本での活動が本格的に開始されました。

日本事務所は、日本国内のプログラムだけでなく、アジア地域経済政策プログラム (SOPAS) も担っており、財団全体の活動の中でも重要な役割を果たしています。



日本事務所の活動例：

<国内のプログラム>

● 記者会見

ミヒャエル・マイスター氏（ドイツ連邦議会議員、CDU/CSU
会派金融・予算委員会副委員長）（日本記者クラブ主催、
2013年2月）

● 講演会

フォルカー・カウダー氏（ドイツ連邦議会議員、CDU/CSU
会派院内総務）（2013年5月）



● 国際シンポジウム

少子高齢化をアドバンテージに変えるには
— 日独が目指す新しい社会・労働市場政策のかたち —
（国際交流基金との共催、2013年6月）

● KAS Japan Forum

国際安全保障対話と欧州の役割（2014年5月）



- **専門会議**

Japan Euro-Atlantic Security Dialogue on Maritime Domain (東京財団との共催、2014年5月)

- **国際会議**

アフガニスタン – これまでの教訓とこれからの道のり
(ベルリン日独センター、世界平和研究所と共催、
2014年9月)

<SOPAS>

- **国際会議**

The End of Double-Digit Growth – Implications for Economic Sustainability in Asia
(開催地：バンコク、2014年1月)

- **円卓会議**

ザクセン州ティリッヒ首相とアジア諸国からのエコノミストとの円卓会議
(開催地：東京、2014年3月)



- **国際会議**

Asia's Approach to Professional Corporate Social Responsibility: Chances and Challenges for Closer International Cooperation
(開催地：ホーチミン、2014年11月)



コンラート・アデナウアー財団 日本事務所

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56

ドイツ文化会館 4階

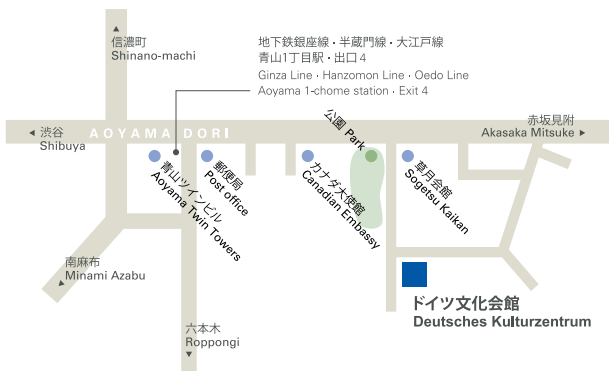
Tel: 03-6426-5041

Fax: 03-6426-5047

E-Mail: KAS-Tokyo@kas.de

www.kas.de/japan/

www.facebook.com/KAS.Japan



東京メトロ 青山一丁目駅 4番出口 徒歩5分